

日本の戯曲研修セミナー in 東京 2024

「龍を撫でた男」福田恆存を読む

戯曲

に関わる

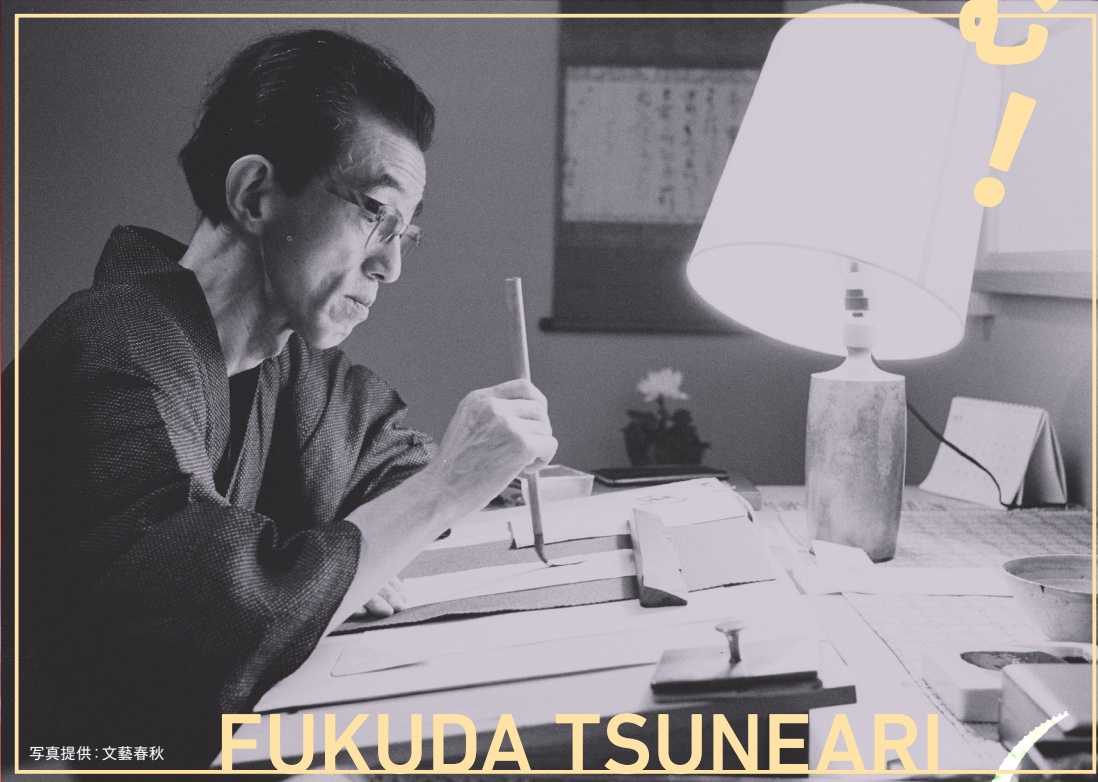
すべての人に

開かれた

セミナーです

今回は、福田恆存の代表的な戯曲の一つである、「龍を撫でた男」を取り上げます。

福田恆存自身と、彼の人間に対する深い洞察から生まれた、福田恆存らしい、人間の虚構性と自己欺瞞を描いた、現代にもつながるユーモアのあるこの作品について、福田と共同演出をしたこともある演出家・村田元史氏をお招きし、公募したメンバーと共にディスカッションし、最終日にその成果としてリーディング発表を行います。



写真提供：文藝春秋

FUKUDA TSUNEARI

ふくだつねあり 1912~1994

日本の評論家、翻訳家、劇作家、演出家。日本芸術院会員。現代演劇協会の理事長を務め、協会附属の劇団雲、劇団樺、劇団昂を主宰する。シェイクスピアの翻訳や演劇活動を通じて文学の本質を追求する一方、保守思想の論客として近代合理主義や進歩主義を批判し、伝統と倫理を重視する立場を貫いた。

見学者募集!

2025年

2/15(土) — 18時~22時

2/16(日) — 13時~17時

2/21(金) — 13時~17時

2/22(土) — 13時~17時

2/24(月祝) — 12時~20時

龍を撫でた男を読む

[会場] 芸能花伝舎

一般社団法人
日本演出者協会

